

平成 25 年 12 月 27 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 U M N フ ァ ー マ
代 表 者 名 代 表 取 締 役 会 長 兼 社 長 平 野 達 義
(コード番号：4585 東証マザーズ)
問 合 せ 先 取 締 役 財 務 部 長 橋 本 裕 之
電 話 0 4 5 - 2 6 3 - 9 2 0 0

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、平成 25 年 2 月 13 日に公表した平成 25 年 12 月期（平成 25 年 1 月 1 日～平成 25 年 12 月 31 日）の連結及び個別の通期業績予想に関し、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

1. 平成 25 年 12 月期 通期連結業績予想数値の修正（平成 25 年 1 月 1 日～平成 25 年 12 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	2,000	△1,900	△2,100	△2,000	△277 58
今回修正予想（B）	93	△4,606	△4,331	△3,894	△515 02
増減額（B-A）	△1,907	△2,706	△2,231	△1,894	△237 44
増減率（%）	△95.4%	—	—	—	—
（ご参考）前期実績 （平成 24 年 12 月期）	108	△2,072	△2,652	△1,996	△420 61

2. 平成 25 年 12 月期 通期個別業績予想数値の修正（平成 25 年 1 月 1 日～平成 25 年 12 月 31 日）

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	2,000	△1,750	△1,760	△244 27
今回修正予想（B）	92	△3,179	△3,209	△424 52
増減額（B-A）	△1,908	△1,429	△1,449	△180 12
増減率（%）	△95.4%	—	—	—
（ご参考）前期実績 （平成 24 年 12 月期）	108	△1,391	△1,325	△279 87

3. 業績予想の修正理由

（1）連結業績予想

平成 25 年 12 月期の売上高の減収要因は、組換えインフルエンザ HA ワクチンのアジア地域でのライセンス供与に係る提携契約及び他パイプラインに関する提携契約が当期中に完了しないこと、また、バイオ医薬品受託製造事業においては、複数の案件について受注したものの、いずれも初期検討段階であり、受託規模について見直したことによるものであります。

このうち、組換えインフルエンザ HA ワクチンのアジア展開につきましては、平成 25 年 10 月 30 日に台湾の國光生物科技股份有限公司（英名：Adimmune Corporation 董事長：詹啟賢）と、当社が開発中の組換えインフルエンザ HA ワクチン UMN-0502、UMN-0501 及び UMN-0901 について、台湾及び中国における商業化に関する優先交渉権を供与する正式契約を締結する一方、より有利な条件で提携すべく、國光生物科技股份有限公司を含む複数の企業との交渉を継続しておりますが、ライセンス供与に係る提携契約の実現は平成 26 年 12 月期以

降となります。今期業績を達成すべく、他パイプラインの提携につきましても日本国内をはじめとした世界展開を目指し提携活動を積極的に実施した結果、複数の企業との経済条件交渉は最終段階にまで至りましたが、提携契約の実現は平成 26 年 12 月期以降となります。

バイオ医薬品受託製造事業につきましては、平成 25 年 11 月には、国立感染症研究所からワクチン候補抗原の製造を受託するなど、着実に事業が進展しておりますが、新規バイオ医薬品の治験薬製造や既に市販されているバイオ医薬品の製造受託案件といった大型案件について、複数の企業と受注に向けた交渉を行っていたものの、いずれも相手先企業の委託方針変更のため、受注には至っておりません。

上記売上高の減収要因に加え、試験研究費について、当社子会社である株式会社 UNIGEN の岐阜工場における、季節性組換えインフルエンザ HA ワクチン（以下「UMN-0502」）の承認申請に向けた各種データ取得を目的とする Performance Qualification (PQ) に係る原材料及び資材の購入費用の増加、燃料価格上昇に伴う水道光熱費の増加に加え、平成 24 年 2 月 3 日付にて採択を受けている岐阜工場生産設備を対象とする「平成 23 年度国内立地推進事業費補助金」に係る補助金収受時期が平成 26 年 12 月期になることから、補助金収入に対応する岐阜工場生産設備の圧縮記帳損の計上を見送ったため減価償却費が増加する結果、営業損失、経常損失及び当期純損失が前回予想と比べ拡大する見込みであります。

（２）個別業績予想

平成 25 年 12 月期の売上高の減収要因は、連結業績予想に記載のとおりであります。

上記売上高の減収要因に加え、試験研究費において、当社子会社である株式会社 UNIGEN に対する、岐阜工場における UMN-0502 承認申請に向けた試験製造の業務委託額が増加した結果、営業損失、経常損失及び当期純損失が前回予想と比べ拡大する見込みであります。

今期業績予想の修正に伴う、平成 26 年 12 月期以降の損益計画への影響は現在精査中であり、今後修正の必要が生じた場合には速やかに開示いたします。

（注）上記業績予想数値につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいて作成しており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

以上